

まなびの広場
稲進会
教室通信

彩色いろいろ

伝えるべきこと

先日流れた塾業界最大手の代々木ゼミナールが3分の2の校舎を閉鎖するというニュースは、マスコミ各社で大きく取り上げられました。私自身、代々木ゼミナールの卒業生です。決して明るいとは言えない青春のページを過ごした場所であり、人生の大きな経験を手に入れることができた場でもありました。そんな時間を過ごした校舎も閉鎖されてしまうようです。ベビーブーム世代の私にとって、当時は、浪人全盛時代。大学に入学するためには、浪人するのもいわば当たり前という風潮が世の中に流れていました。

今回のことで、当時のことが思い出されました。人気講師の各期講習ともなれば、申込み開始日に即日締切。ビデオ録画した講座なんていうのまで即日締切。講習当日には、朝9時スタートにも関わらず、最前席を確保するために始発で通っている友人もいました。朝と行列が苦手な自分はそんなことはしませんでした。そして500人が一斉に受ける授業、いや～机が狭かった。

あれから約20年が経過した今、状況は大きく変わり、現役合格第一。有名大学よりも無理せず地元の大学へ、という考えが高校生の主流となりつつあります。

学歴が絶対的な価値を持ち、子どもの将来を約束するのであれば、それを手に入れるために必要な場を与えることで親は安心できたとも言えます。ですが、2018年にむかえるとも入れている大学全入時代、一部の難関大学をのぞき(そうした大学も年々レベルが下がってきているのも事実です)大学合格それ自体の価値は、無くなっていくと言っても過言ではないでしょう。しかも、少子高齢化社会に入る日本、自然災害がいつ起こるかもわかりません、国の借金も増すばかり、これから生きる子どもたちに待っているのは、これまでより厳しい環境であるのは間違い無いようです。



私はこう考えます。勉強はもちろん大切。ただこれから生きる子どもたちは、勉強と合わせ人間として生き抜いていく力を身につけておくことが大切であると。

学力を向上させることと生き抜く力をつけるために。

教室ができる事は、目の前の物事に目をそむけることなく、ひたむきに一生懸命に取り組むことそして結果を経験として受け止め、次につなげていくことを伝えることです。

きちんと生徒に伝えられるよう、私自身そして教室スタッフの伝える技術、方法の研鑽を行っていきます。

奥松

教室の風景

手術してきました！

先日、声帯ポリープの除去手術をしてきました。レッスン日時を調整していただいた保護者の皆様、生徒のみなさんご迷惑をおかけしました m(_ _)m

喉の声枯れが続き、耳鼻咽喉科にいったところポリープが発見されました。手術しか治す方法がないと言われタイミングを合わせて夏休みの後半に手術を決めました。

手術後一週間は喋るの禁止と言われ、一週間喋れないなんてことはこれまでなかったのでどうなることか心配でした。

最大の心配の原因は、5歳の息子とのやりとりでした。息子は字の読み書きが曖昧なため筆談でのコミュニケーションはとれません。



退院後、食材を買いに行った時、ここで初めて喋れない事に不便を感じました。会計の際に、「レジ袋どうされますか？」と言われ、うっかり「お願いします」と言いそうに。

普段は私にいちいち言われないと何もしない息子が、気を使ってくれお手伝いを進んでしてくれたことを本当に嬉しく感じました。お姉ちゃんが、ママはしゃべれないから絶対怒らせたならダメだよ。もし怒ってしゃべっちゃったらママ口から血でちゃうからね。と脅かしていたみたいです。

皆さんもどうですか？普段は言われないとやらないお子さんでも、ママが具合悪くなると、えっ？そんなことまでしてくれるんだ？と思うような事ありませんか？

私は今回の出来事で、子供はきちんと周りの状況を見ていて、大人が考える以上に理解しているということを教えられました。

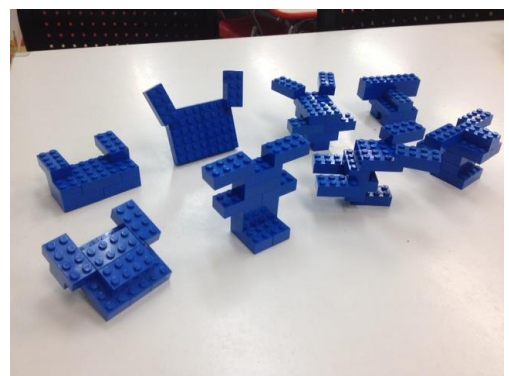
それと今回の出来事でもう一つシミジミ感じた事は、私が喋らないと我が家って静かだなあ〜と(笑)。

インストラクター 山本 英美

今月の作品紹介



“巨大モノレール”
またもや巨大モノレール登場！
モノレールの下には、たくさんの動物が生活しています。



“これ何？→うさぎ”

8ポッチブロック10個で作ったうさぎです。レゴブロックの醍醐味は、一つのテーマに対し多種の作品が出来ることですね。